



メシバ



イヌビエ



イヌビユ



ハコベ

一年生雑草に優れた効果



いちご



とうもろこし



大豆



落花生



えだまめ



キャベツ



だいこん



かぶ



ほうれんそう



ブロッコリー

畑作用土壌処理除草剤

ラッソー[®] 乳剤

®は日産化学(株)の登録商標

ラッソー®乳剤

有効成分：アラクロール……43.0% 人畜毒性：普通物*

*毒物及び劇物に該当しないものを指している通称

特長

- 土壌処理により、一年生雑草(特にイネ科雑草)に高い効果を示します。
- 広範囲の作物に使用できます。

■適用作物と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当たり使用量		本剤及び アラクロール を含む農薬の 総使用回数	使用方法	適用 地帯
				薬量	希釈 水量			
なし	一年生雑草	春～秋期 (雑草発生前) 但し収穫21日前まで	全土壌	500～ 600㎖	100ℓ	2回以内	全面土壌 散布	全域
ぶどう		春～秋期 (雑草発生前) 但し収穫45日前まで						
とうもろこし 飼料用とうもろこし		は種後出芽前		200～ 400㎖ 300～ 600㎖		1回		雑草茎葉 散布 又は全面 土壌散布
	一年生 イネ科雑草	生育期1～2葉期 (イネ科雑草) (2葉期まで)	200～ 400㎖					
はとむぎ	一年生雑草	は種後出芽前	全土壌	300～ 600㎖	2回以内	全面土壌 散布	全域	
かんしょ		挿苗後 (雑草発生前) 但し収穫90日前まで		300㎖				
ばれいしょ		植付後 (雑草発生前) 但し植付14日後まで		200～ 400㎖				北海道
だいず らっかせい えだまめ		は種後出芽前	300～ 600㎖	1回	全面土壌 散布	全域		
いんげんまめ			300～ 400㎖					
キャベツ		定植8日後まで	150～ 200㎖					
はくさい ほうれんそう だいこん かぶ のざわな		は種直後	壤土～ 埴土	150㎖	2回以内	全面土壌 散布又は 株間土壌 散布	北海道	
こまつな				50～ 100㎖				
ブロッコリー		定植後 (雑草発生前) 但し収穫60日前まで	全土壌	150～ 200㎖	2回以内	全面土壌 散布又は 株間土壌 散布	北海道	
いちご(親株床) いちご(子苗床) いちご(本圃) いちご(施設栽培)	植付後又は 定植後 (雑草発生前) 但し収穫60日前まで	300～ 400㎖		3回以内				雑草茎葉 散布又は 全面土壌 散布
てんさい (移植栽培)	一年生 イネ科雑草	移植後 (雑草発生前) 但し収穫60日前まで			2回以内	全面土壌 散布	九州 沖縄	
てんさい (直播栽培)		中耕培土後 (雑草発生前) 但し収穫60日前まで						
さとうきび (株出)	カワリバトウダイ	株出管理後90日まで (雑草発生前)	全土壌	400～ 600㎖	2回以内	全面土壌 散布	九州 沖縄	
さとうきび (春植又は夏植)	一年生雑草 カワリバトウダイ	移植後 (雑草発生前) 但し植付90日後まで						
ソルガム	一年生雑草	は種直後 (雑草発生前)		300㎖	1回	全域		
桑		桑発芽前 (雑草発生前)		400～ 600㎖	2回以内			
たばこ (無被覆栽培) たばこ (普通畦面被覆栽培)		定植前10～20日 (雑草発生前)		200㎖	1回			
たばこ (折衷マルチ栽培)			100㎖					

⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。
- 本剤は、雑草の発芽後はほとんど効果がないので、雑草の発芽前に散布してください。
- タデ科、アカザ科などの広葉雑草には効果が劣るのでイネ科雑草優占ほ場で使用してください。
- 発芽直後のきゅうり及びねぎに対しては、薬害を生じるおそれがあるので、付近にこれらの作物がある場合は薬液が飛散してかからないよう十分注意して散布してください。
- はくさい、ほうれんそう、だいこん、かぶ、のざわなでは薬害を生じるおそれがあるので砂質土壌での使用はさけてください。
- こまつなに使用する場合
 - 1) 砂質土壌では薬害を生じるおそれがあるので使用はさけてください。
 - 2) は種時の覆土は1～2cmとしてください。
 - 3) 薬剤処理は土壌表面が乾いた状態で行なってください。
 - 4) 薬剤散布後の過剰の灌水はさけてください。
- 有機物を多く含む土壌や粘質土では、効果が劣る場合がありますので、所定範囲の高薬量で使うことが望ましいです。
- いちごに使用する場合
 - 1) 親株床では植付後およびランナー発生時の2回、また本圃では定植後及びマルチ前の2回散布し、体系で処理すると有効です。
 - 2) 本圃では、なるべく株に薬液がかからないように注意し、暖地では株間処理した方が安全です。
 - 3) 半促成栽培では、株間処理をしてください。
- いんげんまめに使用する場合、金時類(白金時類は除く)、中長うすら類のみ使用してください。
- たばこに使用する場合
 - 1) 改良畦面被覆栽培では薬害を生じるおそれがあるので使用をさせ、無被覆栽培、普通畦面被覆栽培では定植前10～20日(畦面被覆の場合は被覆の前)に処理してください。
 - 2) 本剤の処理によって初期生育が抑制されることがあるので、処理後定植までの日数は所定範囲でなるべく長くするようにしてください。
- さとうきびに使用する場合、ツノアイアシには効果が劣ります。
- ソルガムに使用する場合
 - 1) 砂質土壌では薬害を生じるおそれがあるので使用はさけてください。
 - 2) は種時の覆土は3cm以上としてください。また散播では使用しないでください。
 - 3) 薬剤処理は土壌表面が乾いた状態で行なってください。
 - 4) 激しい降雨の予想される場合は使用しないでください。
 - 5) ソルガムは品種が多く薬剤に対する品種間差もあるため、使用の際は必ず病害虫防除等関係機関の指導を受けてください。
- はとむぎに使用する場合
 - 1) 砂質土壌や有機物の少ない土壌、過湿な土壌では薬害を生じるおそれがあるので使用はさけてください。
 - 2) 播種時の覆土は3cm以上としてください。
 - 3) 薬剤処理は土壌表面が乾いた状態で行なってください。
 - 4) 激しい降雨の予想される場合は使用しないでください。
- 本剤は自動車などに散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないように注意してください。
- 本剤の散布や、調製に使用した器具類は、使用後水で十分洗浄してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2025年8月現在の登録内容に基づいています。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号

ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>

お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00～17:30 土日祝日除く)